

働きすぎ黒書 ニュース

全日本教職員組合（全教）生権局

東京都千代田区二番町 12-1 3 F

2007年1月5日

授業準備が十分にできる環境を！

埼玉・高校教員

疲れる一週間が終わる。土・日で休めるか・・・と思いきや、部活動で出勤。そして、前の週の疲れがとれないまま、次の週が始まる。

月曜日

午前3時間連続授業。昼休憩のあと、翌日の朝補習や授業の準備。放課後は臨時に入った会議。会議後、残務整理をし、学校を出たのは6時半。

火曜日

朝7時半からの補習。授業。空き時間に授業準備。放課後は教育課程委員会。会議が終わったのは5時半。

水曜日

昨年度は午前中4時間連続授業だった。その上、担任だと、6限「総合的な学習の時間」7限「LHR」で7時間中6時間入っているというものすごい時間割。今年は私の場合、そういうことはないが、空き時間に授業準備は終わらず、いつも仕事を持ち帰っている人が多い。

木曜日

朝、7時半に出勤し、授業で配布するプリントの印刷。午前3時間連続授業。昼休憩のあと、校務分掌の仕事、部活動会計の仕事と雑務に追われる。放課後は職員会議。会議がおわると5時半。その後、部活動に参加。結局、この日、学校を出たのは7時半。もちろん持ち帰る仕事もある。

金曜日

ようやく週末。授業。空き時間は授業準備、雑務。放課後は教科会、部活動。学校を出るのは6時半。

私は高校で英語を教えている。今年度は、3種類の科目を15時間持っている。昨年度は3種類で17時間。教師も新しいことを吸収しつつ、十分な授業準備をするためには、3種類の科目で週15時間はぎりぎりの上限だろう。授業以外にも雑務があることを考えれば、それでも多いくらいだ。

文部科学省よ。教師の質をうんぬんし、管理を強める前に行政としてやるべきことは山ほどあるだろう。教師が授業準備・研究を十分にできる環境を保障せよ。